

2021年度 愛臨技 第1回輸血検査研究会アンケート

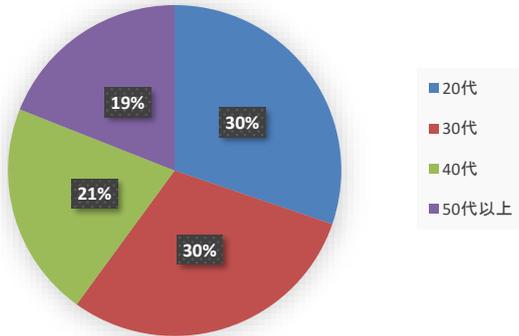
閲覧期間: 2021年5月8日(土)~5月21日(金)

配信方法: オンデマンド配信

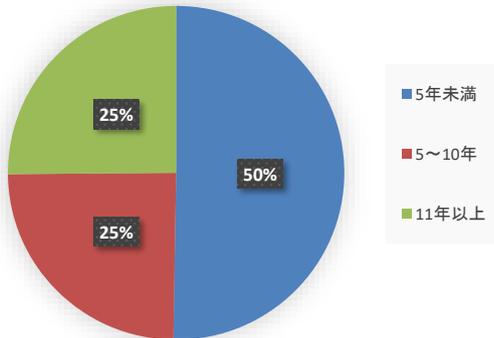
テーマ: 症例やインシデント事例から学ぶ輸血検査・輸血療法

申し込み総数:342名 アンケート回収:195名 (回収率57%)

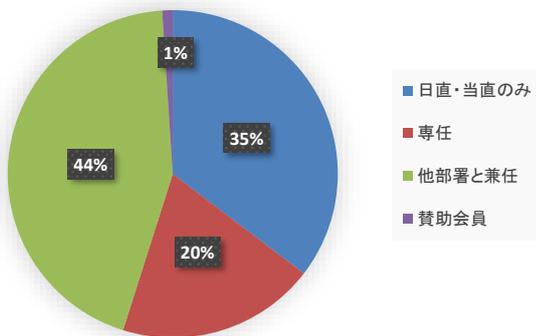
<アンケート1>年代について



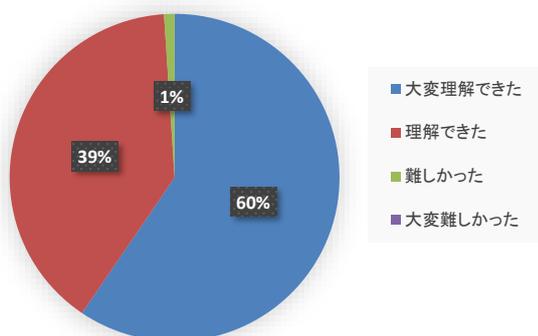
<アンケート2>輸血業務経験年数について



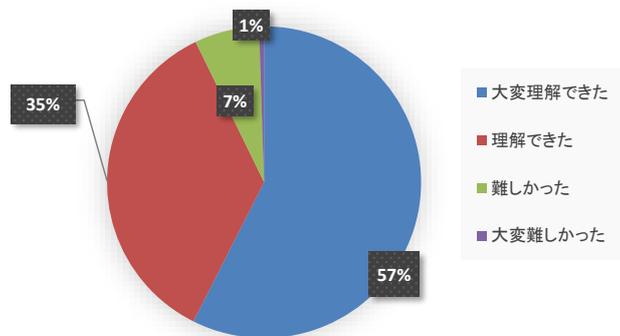
<アンケート3>勤務形態について



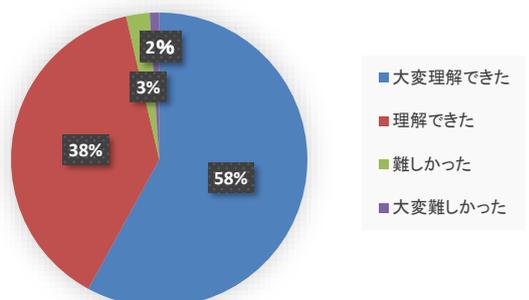
<アンケート4>「講演1 血液型検査編」の内容は分かりやすかったですか？



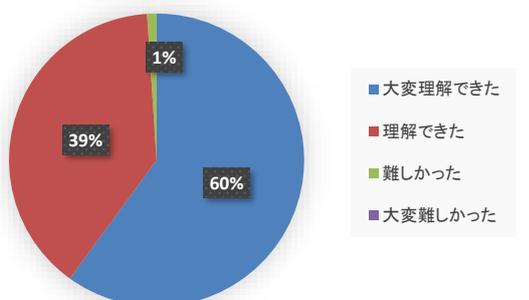
<アンケート5>「講演2 不規則抗体/交差適合試験編」の内容は分かりやすかったですか？



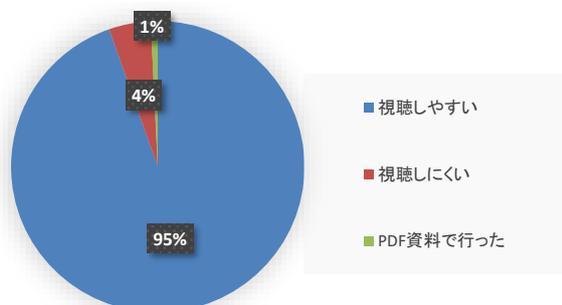
<アンケート6>「講演3 緊急対応編」の内容は分かりやすかったですか？



<アンケート7>「講演4 失敗は成功のもと！しくじりから学ぶ輸血検査」の内容は分かりやすかったですか？



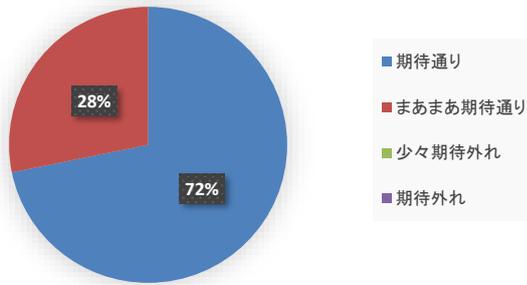
<アンケート8> 今回の講演でWeb録画の視聴しやすさは、どうでしたか？



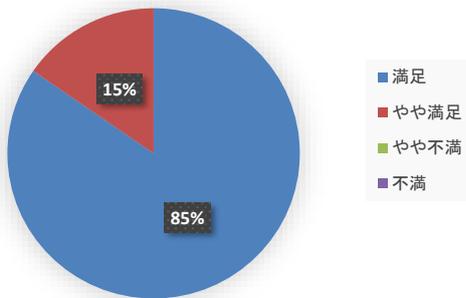
<アンケート8-1> アンケート8で「視聴しにくい」とお答えの方へ、具体的にどんな部分だったでしょうか？

- ・音声が聞き取りづらい部分があった
- ・演者により、音量に大きな差があった。
- ・音声が聞きづらく、イヤホンが必要であった。緊急対応編が途中でフリーズした。
- ・若干音声が小さい発表があり改善いただけるとありがたいです。
- ・音量を大きくできるようにしていただきたい。
- ・「時間を問わない、何度も見れる」点は良かったが、音声の音量が動画内で変わり聞きづらい部分があった。
- ・音声が聞きにくいところと、説明と画像がずれている部分があった
- ・血液型検査編一症例の結果表スライドの説明時音量が小さく聞き取りにくかった。
- ・一部音声が聞き取りにくい場面があった。
- ・講演の声の音量が変化することがあり、一部聞きづらい点があった

<アンケート9> あなたの期待と講演内容は一致しましたか？



<アンケート10> 研究会全体を通して満足されましたか？



<アンケート11> その他ご意見がありましたらご記入ください。 講演に対しての質問がありましたら、こちらへお願いします。

ご意見

- ・用手法で行う検査について、実際に動画として配信してほしい。
- ・時間を問わずに視聴できたこと、繰り返し視聴できたことがとてもよかったです。
- ・たまの当直勤務 毎回 輸血業務 緊張します。わからない事への対処の助けになります。ありがとうございます。
- ・技師会HPでとても勉強になりそうな内容でしたので 他県ですが参加させていただきました。web開催ということで場所を選ばず勉強でき、とても良かったです。また次の機会があればよろしくお願いします。
- ・資料があり勉強しやすい。
- ・『落ち着いて』というフレーズが多く心に留まりました。
- ・待機で輸血業務を行うことがあります。普段から携わらないため、今回勉強させていただき、大変勉強になりました。一方で、少し専門用語が多くもう少し勉強が必要だなと感じました。参加させていただき、ありがとうございました。
- ・日当直でも遭遇しうるエラーやトラブルを取り上げて下さり、その解説も分かりやすかったです。
- ・免疫グロブリン製剤の大量静注による影響があった時の製剤の選択についてなど、とても勉強になりました。
- ・WEB録画は期間内であれば何回も視聴できるし、自分の都合で視聴できるので非常に良いです。コロナが終わっても続けて頂けると、家庭の事情で勉強会先まで行くことが出来ない人も勉強できます。準備が大変だと思いますが、これからも視聴できる期間があるWEB録画を続けて頂きたいです。
- ・愛知県以外の他県技師会員でも参加可能で、とてもありがたいです。各先生方の資料がとてもわかりやすく勉強になりました。何度も視聴したいと思いました。
- ・講演4のイラスト分かりやすく素晴らしい
- ・今回の研修会内容を日々のルーチン業務に活かしていきたいと思います。また、検査室の中でも共有し、正確な結果を臨床に報告していきたい。
- ・これからもWEB講演にしてほしいです。期間もこのまま長くしてほしいです。
- ・貴重なご講演ありがとうございました。
- ・このようなWeb配信を開催して頂きありがとうございました。色々な重要ポイントを再確認させて頂きました。
- ・この度は貴重なご講演をしていただきありがとうございました。
- ・スライドが配信されて、内容が理解しやすくなった。レポートもプリントアウトでき、内容をチェックしながらできるようになりましたよかったです。
- ・日当直のみでの業務なので知識不足のせいではありますが、不規則抗体の対応はやや難しい内容でした。しかしながら、症例ごとの注意事項及び心構えは大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・気をつけるポイントやインシデント症例などが分かり、今後の自身の輸血検査に活かすことができると感じました。ありがとうございました。
- ・Webでの講演は見返すことができるので大変助かります。ありがとうございます。

質問

とても勉強になりました。ありがとうございました。
講演のことと日常業務に関していくつか質問があります。

<講演1>

- ① 症例1はよく出会う症例で、私も示していただいた追加検査をして確定します。
このような結果が得られた場合は亜型の可能性は完全に否定しても良いのでしょうか。
例えばABx型の抗Bは血漿増量や反応時間延長では凝集は増強されないのでしょうか。
- ② 亜型の製剤選択で「亜型の分類は必要なく抗A、抗Bの存在次第」と「血液型未確定患者はRBCはO型、FFP/PCIはAB型」の線引きはどこでしょうか。
示していただいた追加検査で亜型が疑われたら前者の考え方で良いのでしょうか。
以前受けた認定試験前合同研修会では最初は前者で説明があり、受講者側の指摘で後者に訂正されていたと記憶しています。
- ③ 吸着解離試験で、最終洗浄液で陰性を確認しているにもかかわらず、解離液でw+程度の凝集を認める症例が続くことができました。
ちなみに症例1のような患者に対して行ったものです。何か考えられるでしょうか。

<講演2>

- ① 症例1の「あなたならどうする？」の選択肢で、私なら時間的余裕をまず確認します。
状況次第ですが、抗原情報検索をして念のためE(-)Dia(-)の製剤で交差試験実施と、追加パネルを同時進行で行います。
- ② 症例2は不規則抗体スクリーニングが陰性でしたが、結果報告も陰性でしょうか。
当院では過去に1度でも臨床的意義のある抗体を指摘している場合は今回の検査上は陰性でも陽性として報告しています。
- ③ レポートの<質問4>で、①は血液型確定済みならガイドライン上は1本でも差し支えないが施設のオーダリングシステム上の問題などで2本採血が提出される場合もあり、ABO同型不規則抗体保有患者との取り違いの可能性は否定しきれないようにも思います。
- ⑤は不規則抗体検査でも陽性となる例もあるかと思えます。スライド上は①③が正解かと思いましたがとても迷いました。

<講演4>

- ① 血液型検査編での「血液型の誤入力」で【A技師】(オモテ検査)【B技師】(ウラ検査)とありますが、このような検査実施は問題ないのでしょうか。
一連の検査は1人で行うものと認識していました。

免疫グロブリン製剤を投与されている方の自己対照陽性の際は、血液型ウラ検査にも影響しますか？

また、ウラ検査に影響がない場合の解釈は、自己の型物質や赤血球への感作にとどまり、検出感度以下でウラ検査で検出されなかったという事でしょうか？
ウラ検査を血漿量を倍量にしたり、室温でインキュベーション時間を延長すれば、免疫グロブリンの影響をウラ検査でも確認できたりするのでしょうか？

亜型の輸血に関して

直後判定で不規則抗AやBが陽性の際は、反応増強剤無添加60分クームスを実施後、陰性であれば同型の赤血球製剤を選択するかと思いますが、直後判定で陽性であった方は、同型血の頻回輸血で不規則抗AやBの産生の可能性は、あるのでしょうか？

また、60分クームスで陽性となる場合は、IgG型の抗体ということでしょうか？

IgG型と仮定すると、亜型の方で、ウラ検査に不規則抗AやBを保有していた場合に同型血を輸血してしまった場合の副作用は、血管内溶血を引き起こすのか、遅発性の血管外溶血を起こすのかどちらでしょうか？

以上、長文で申し訳ありませんがご回答お願い致します。今回の公演内容もとても勉強になりました。ありがとうございました。

* 質問に対しての回答は、参加者全員へメールでお知らせします。